

学校法人 キリスト栄光学院
 栄光幼稚園・名護栄光幼稚園
 2019年度 学校自己点検・評価

幼稚園では「学校評価に係る学校教育法施行規則等の一部を改正する省令」が平成19年10月30日に交付されました。その改正に伴い、学校の教育活動その他学校の運営状況について評価を行い、改善を図る為必要な措置を講ずることとされています。

本園も自己点検評価をとり行い、現状や今後の取り組むべき課題を「自己評価点検票」としてまとめ、公表することにいたしました。本園の現状をご理解いただくご参考になれば幸いです。また、本園はこの自己点検・評価を基に改善・改革に取り組み、より良い教育活動を行うように努めてまいります。

●教育目標

『神を畏れ、人を愛する人格』を育てる。これが私達の目標です。

具体的には

- ・『感性豊かな、聖く優しい思いやりの心（心育）』
- ・『深く考え工夫する良い頭脳（知育）』
- ・『きびきび丈夫で頑張りのきく強い身体（体育）』
- ・『好き嫌いなく感謝して頂く食欲（食育）』を目標とします。

●保育の特色

キリスト教主義の幼稚園であるため、聖書の教えに基づき保育を行います。

また園独自のカリキュラムの取り組みとしては「読み・書き・計算・歌い・弾く・走る」の進度別個別指導を通して個々の成長を手助けしていきます。

●自己点検・評価の実施概要

『幼稚園教諭のための自己評価チェックリスト』

編著者 『幼稚園教諭のための自己評価チェックリスト』編纂委員会

発行 株式会社 萌文書林 を用いて実施。

設問に対し、「はい」の数を集計し、「いいえ」の数を減算したものを評価点とする。

●実施日

2020年3月に実施（2019年度の保育を基に）

●実施対象者

各クラス担任、副担任（栄光幼稚園16人、名護栄光幼稚園13人）を対象として実施

●特記

- ・Ⅲ 地域の住民や関係機関との連携
- ・Ⅳ 小学校との連携

上記2項目については連携経験のある担任（栄光幼稚園5人、名護栄光幼稚園4人）のみ回答を実施。

評価項目		設問数	評価		具体的な取り組み	
			栄光	名護栄光		
Ⅰ 幼児の発達援助	1 ねらい・内容	(1)情緒の安定	11	172	101	●幼児がよろこんで登園して来れるように活動や環境に考慮している
		(2)保育内容	1)健康	12	176	120

		2)人間関係	12	180	137	<ul style="list-style-type: none"> ●園児さん同士のトラブルも幼児の育ちに欠かせないものとして捉え、対処している ●良いことや悪いことがあることに気づき、考えて行動することができるように支えている
		3)環境	12	104	55	<ul style="list-style-type: none"> ●物を大切に扱えるように指導がされている ●沖縄という土地柄、四季を感じるような自然教材が手に入りやすく使用していない現状がある
		4)言葉	12	178	124	<ul style="list-style-type: none"> ●返事、挨拶に力を入れ、自分の言葉で自分の気持ちを表現できるように指導している
		5)表現	12	153	123	<ul style="list-style-type: none"> ●あらゆる手法で幼児の自己表現ができるよう取り組み、その喜びを感じさせている
		(4) 幼児の人権	7	59	56	<ul style="list-style-type: none"> ●聖書の教えを基にお互いを尊重できるよう心を育てている ●地域がら外国籍の園児もいて多文化とのかかわりを持っている
2. 幼児の発達援助の留意項目	(1) 指導計画の作成	13	72	38	<ul style="list-style-type: none"> ●年・学期・月案など長期的な指導計画、具体的な日案などの指導計画を作成している ●地域の人材、行事等を保育に取り入れる計画を立てることに課題が残る 	
	(2) 保育計画の作成	6	58	28	<ul style="list-style-type: none"> ●保育日誌を毎日作成し、園児の発達理解に活かしている ●幼児の気になる幼児の様子などを他の職員と共有している 	
	(3) 健康管理	12	130	104	<ul style="list-style-type: none"> ●身体測定、内科、歯科検診、学校薬剤師による環境試験を行い、文書にて保護者への通知を行っている ●幼児が落ち着いて食事・おやつを楽しめるように、雰囲気づくりなど工夫している 	
	(4) 保育環境	13	130	89	<ul style="list-style-type: none"> ●幼児が活動しやすいように、保育室の換気や温度・湿度、採光などに配慮している ●幼児の発達段階に即した絵本・遊具・用具を用意している 	
	(5) 安全管理	6	62	54	<ul style="list-style-type: none"> ●危険を全て除去するのではなく、幼児にとって危険な場所、行動を理解させる指導を行っている 	
II 子育て支援	1 子育て支援	11	76	59	<ul style="list-style-type: none"> ●地域の幼児教育のニーズ把握に課題が残る 	
	2 預かり保育	8	92	62	<ul style="list-style-type: none"> ●預り保育ニーズが高まっている現状を認識しており、さらなる体制の強化が課題である 	
III 地域の住民や関係機関との連携			6	26	28	<ul style="list-style-type: none"> ●教育実習生や職場体験の児童の受け入れを積極的に行っている ●今年度より高校生の継続的なボランティアを受け入れ、保育者に夢を持てるようにした

IV 小学校との連携	6	-20	-4	●進学する小学校が多岐にわたるため十分に連携が取れていると言えない現状である
V 保育にあたっての留意事項	29	231	137	●自分の保育実践について、他の人の意見を感情的にならずに謙虚に受け止めることができている ●担任が主体の職員会議の他に補助や副担任が主体となる第2会議を実施し、情報の共有を図った

2020年度への課題・取り組み

- キリスト教を主体としたところの教育を中心に、正しい生活習慣を身につけることを引き続き行っていく。
- さらなる幼児個々の成長を促すような環境作りの徹底を図ることが大切だと考え、実施する。
- 育児、教育相談をより充実させるため、関係機関との連携を密にすると共に、教職員は日々の研修、研鑽に努め、よりきめ細やかな子育て支援体制を整えていく。
- 認定こども園として地域と連携すべく、地域の子育てニーズの把握にも努めていく必要がある。
- 小学校との接続に力を入れ、園児さん、保護者さんが安心して就学できるように努める。
- 保育の長時間化、預り保育ニーズの高まりを受け、午後の預り（ホームクラス）強化に取り組む。
- 園内環境のIT化に取り組み、担任教諭や補助教諭の負担軽減をはかる。
- 今年度よりスタートした高校生の保育ボランティアを継続し、保育者への興味、夢を応援していく。